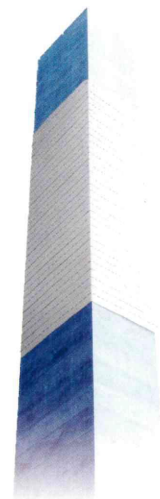


# プラス SRF

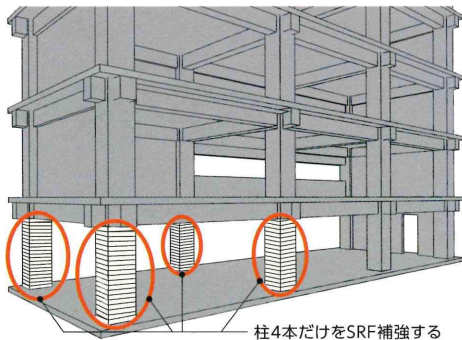
Super Reinforcement with Flexibility [包帯補強]

「新耐震」や「耐震補強済み」の建物でも、SRFを付加することで、地震後も使用継続できます。



SRFは、別名「包帯補強」と呼ばれ、しなやかで切れないポリエステル製のベルトやシートを臭いの無い専用接着剤でコンクリート構造物の柱や壁に貼り付けて補強する工法です。震度7クラスの揺れを数回加えても、倒壊しただけでなく揺れも抑えることが震動台実験等で確認されています。建物の重量や固さ、バランス、間取りをほとんど変えません。居住者への影響も最小限で済みます。公的機関からの評価を取得しています。

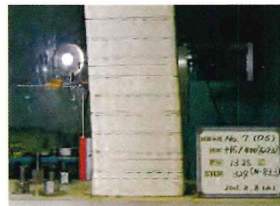
## か な め 建物の要の柱にSRF



## 耐震実験例(東大地震研究所と共同実験)



SRF補強なし



SRF補強あり

要を補強して揺れを制する!

「揺れが少なかった」  
こんな反響が多数ありました

SRF

## 熊本地震

### 熊本市内大学 校舎

SRFで柱7本を補強し、腰壁から上の部分に鉄鋼ブレースで補強しました。平成28年熊本地震で震度6強の揺れを受けましたが、ほぼ無被害で使用を継続しています。



## 東日本大震災

### 仙台市内マンション

ピロティ柱30本をSRFで耐震改修していた1987年築・新耐震のマンション。3.11の震災で、補強した部分は上層階もタイルも落ちず被害なし。ピロティ以外の部分は、タイルが落ちて被災。



## SRF施工実績

(東日本大震災当時)

